

01 | Chairman and President in dialogue

会長・社長対談



■ 社長メッセージ

1-1

■ 会長・社長対談

1-2

1-1 社長メッセージ

2024 年 9 月に代表取締役社長に就任

朝日インテックらしさを大切に、現場のニーズに当社独自の技術力で応えていく

この度は、「朝日インテック 統合報告書 2024」をご覧いただき、ありがとうございます。朝日インテック株式会社 代表取締役社長の宮田憲次でございます。

2024年9月1日に、三代目の代表取締役社長に就任いたしました。前代表取締役社長である宮田昌彦は、創業者である宮田尚彦がつくり上げた CTO 治療用の PCI ガイドワイヤーをはじめとした各種の高い技術力を有した製品群について、国内のみならず海外市場への展開を推し進めるなどし、当社のグローバル化に貢献してくれました。

私は、新卒で朝日インテックに入社し、その後、ものづくり企業としての基礎となる高付加価値製品を安定的に供給できるための生産全般、サプライチェーン構築、メディカル事業の重要な部材加工を担うデバイス事業の運営、M&A 会社の PMI などの経験を経て、2016年9月に代表取締役副社長に就任し、前社長とともに当社経営の全般に携わってまいりました。



朝日インテック株式会社
代表取締役社長
宮田 憲次

1-1 社長メッセージ

目標連結売上高 1,100 億円の前倒し達成を想定 組織の充実とスピーディな経営判断の両立を実現していく

今後、代表取締役社長 CEO として、経営の舵取りを進めてまいります『ドクターやお取引先様の現場ニーズに、当社独自の技術力で応えていくことで、すべてのお客様の夢を実現していく』という当社の存在意義は、今後も変わることはありません。現場主義、試作対応力、スピードというキーワード、朝日インテックらしさ、朝日インテックだからこそ成し得てきたものを大切にしながら、今以上に企業価値を高めるべく、まい進してまいりたいと考えております。

当社は成長性が高く、それに伴い事業範囲も組織規模も大きくなっておりますが、今後の更なる成長性を維持・拡大させるために、今以上にグローバル規模で組織を充実させながら、当社の良さであるスピーディな経営判断とその実行が合わせて実現できる企業であることが重要だと考えております。

そして、前社長が先頭になって進めてきた新規事業開発についても、その戦略を踏襲し、進めていきたいと思っております。そのような中では、今後さまざまな取捨選択もありますが、当社グループが中長期的な成長を実現するためには何が重要なのかをしっかりと考え、対応してまいります。

現在の中期経営計画『ASAHI Going Beyond 1000』は、2026 年 6 月期に連結売上高 1,100 億円を達成することが目標となっておりますが、現在のところ、1年前倒しにてその売上高目標を達成できるものと予定しております。新たな戦略も含めて、新中期経営計画について現在しっかり検討を進めておりますので、しかるべきタイミングで適切に開示させていただきたいと考えております。

業績を伸ばすだけではなく、ガバナンス、従業員の働きがいや働きやすさ、自然環境などにも十分に配慮しながら、事業の持続可能性を高めるサステナブル経営を実践していきます。

今後も、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

朝日インテック株式会社
代表取締役社長

宮田 寛次

